



平成28年10月31日  
横浜市立金沢小学校  
横浜市金沢区町屋町 26-26  
☎781-2401

## 子どもたちが考える“安心・安全”

学校長 高木 篤子



子ども自身が安全・安心について話し合い、発表を通して考える全市や区取組に学校代表として参加した児童が、10月の朝会で全校に報告してくれました。

まず、「横浜子ども会議」に参加した6年生の報告を紹介します。

私が参加した横浜子ども会議では、「だれもが安心して生活できるいじめのない子ども社会をつくろう」をテーマに、いじめについて話し合いました。金沢中学校ブロックでの会議では、はじめに、もし自分がいじめの場面に出会ったらどんな自分でありたいのかを話し合いました。いじめられている側の気持ちを考え、そこで終わるのではなく、声をかける、仲間に入れるなどの行動に移すことが大切だという考えをもちました。次に金沢区役所で行われた会議にも参加し、各ブロックで話し合った考えを持ち寄って交流しました。そこで私が印象に残ったことは、相談できる関係をつくるということです。そんな関係をつくっていくために大切なのが、自分と相手のちがいを認め、相手のことを理解できるようになることです。自分のいいところ、相手のいいところを心にとめておいてもらえるとうれしいです。」  
(発表原稿より抜粋)

続いて、金沢警察署が中心となって開催した「金沢区 児童生徒による非行・被害防止サミット」に参加した5年生2名の報告を紹介します。

わたしは、小学校の発表について報告します。あいさつのことについて発表した学校では、あいさつ集会を開いたり、あいさつのよい例や悪い例の劇をしたり、あいさつ隊をつくって朝のあいさつをしたりしていました。もう一つの学校では、児童運営の人たちが大きな声であいさつすることによって、あいさつされた人たちも大きな声で返していることが発表されました。放送委員と協力して、お昼の放送であいさつのPRもしているそうです。わたしは2校の発表を聞いて、改めてあいさつの大切さを知りました。そして、お昼の放送であいさつのPRをして、みんなにあいさつのいいところを知ってもらいたいと思いました。  
(発表原稿より抜粋)

ぼくは、中学校の発表について報告します。万引き、自転車盗難、ネットトラブルについての発表が多かったです。その中で、ぼくがいちばん心に残ったことは自転車盗難です。自転車盗難の被害にあわないためには、まず、防犯カメラに近い駐輪場に自転車を止めることです。次に、鍵を二重にかけることです。もしも盗まれてしまったら、被害届を出すことも大切です。ぼくは、買い物に行ったときに、いつも鍵を二重にかけていません。これからは、鍵を二重にかけることを心がけようと思います。  
(発表原稿より抜粋)

高学年の児童が近隣の小学生や中学生と交流する機会を得て、思いを深め、自校で価値ある内容を伝えることができました。全校児童は体育館に整列し、真剣に報告を聞くことができました。このように、子ども自身が考えて行動できるような場を設定することの意義を感じました。

地域の皆様・保護者の皆様には、日頃より子どもたちをあたたく見守っていただき感謝しています。どうぞこれからも、子どもたちの安心・安全へのご支援をよろしくお願いいたします。